

# 館蔵品展「新資料展」出品目録

〔会期：平成23年2月5日(土)～5月8日(日)〕

はじめに

博物館の重要な役割は、「資料」の「収集・保管」、「調査・研究」、「展示」、「教育普及」などがあげられます。

博物館では、「資料」を寄贈・購入・寄託などの方法により収集し、調査・整理して、日頃からその保存管理につとめています(ちなみに当館でいう「資料」とは、高岡を中心とした郷土の歴史・文化を語るうえで欠かせない貴重な文化財のことです)。

本展では、年々多く収集される資料のうち、新資料や、未公開の資料を中心に展示・紹介いたします。

博物館は郷土の歴史・文化の継承・発展のために日々活動を続けています。それは、貴重な資料を当館へご寄贈していただく皆様のご協力があってはじめて成り立つことです。

本展に出品した貴重な資料をご寄贈賜りました皆様には、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

## 1. 歴史資料

No	資料名称	年代	数量	法量 (縦×横,cm)	備考	収蔵方法
1	古銭	平安末～江戸期	11	—	古寛永通宝3点、新寛永通宝3点、文久永宝2点、渡来銭(永樂通宝・乾隆通宝・道光通宝)3点	匿名希望者寄贈
2	『微妙公御直言』(写本)	享保5年(1720)8月	1	23.7×17.3×厚1.0	承応3年(1654)以降、前田利常に仕えた藤田安勝が、小松で政務を執っていた利常の言動などを記録し、6代・吉徳に呈したものの	購入
3	「三業惑乱につき勝興寺一件」など合綴(写本)	江戸後期	1	23.2×17.0×厚1.4	寛永9年(1797)浄土真宗本願寺派内に起こった異安心事件「三業惑乱」についての文書を中心にまとめたもの	〃
4	『富山県高岡市明治三十二年歳入出総計予算書』	明治33年(1900)	1	23.5×17.7×厚1.2	高岡市の歳入出予算書。歳入・歳出予算高は、同額で1,016円35銭5厘	中村喜久雄氏寄贈
5	『藤井能三翁銅像建設記念帖』	大正11年(1922)	1	22.3×15.3	伏木町立伏木尋常高等学校(現・伏木小学校)校庭に建設(昭和18年供出、同27年再建)。台座設計は吉田鉄郎	八坂蜜子氏寄贈
6	下関村高岡市編入記念盃	大正14年(1925)	1	径5.0×高3.0	大正14年(1925)8月1日、射水郡下関村(1889～)の高岡市編入記念に作られた盃。九谷焼	篠原秀幸氏寄贈
7	写真「塩を運ぶ女仲士たち」	大正期～昭和初期	2	—	伏木の港で荷積み作業に従事する「女仲士」たちの様子を撮影した写真。大正期頃、低賃金で女性たちが石炭や米、肥料などを背負って解から倉庫へと運搬した	匿名希望者寄贈
8	『富山縣案内』(付富山縣商工案内)	昭和3年(1928)5月1日	1	17.4×9.5×厚0.5	発行・富山県及富山県人社。富山県の市町や名勝旧跡、特産物、商店広告などを掲載したもの	購入
9	高岡市街図	昭和9年(1934)9月22日	1	75.3×52.0	字名や公共施設、神社仏閣、鉄道、河川などを記した市街図。渡邊福一郎[1945年高岡交通株式会社創業]によるバス路線申請のための書き込みがある	村田義弘氏寄贈
10	『明治天皇大御心』	昭和10年(1935)6月15日	1	18.7×14.5	発行・高岡市下関尋常小学校(現・高岡市立下関小学校)。明治天皇が作った詩文・和歌を百首と、皇后・昭憲皇太后の歌三十首をまとめたもの	購入
11	高岡新聞(躍進高岡／博覧会の春)	昭和11年(1936)4月20日	1	54.2×78.0	日満産業大博覧会(会場：富山市神通川廢川地。会期：4月15日～6月8日)の開催に伴い発行された特集記事。県内企業や商店、旅館なども写真付きで紹介	匿名希望者寄贈
12	『越中宮』(安養山守山極楽寺史)	昭和11年(1936)9月22日	1	15.1×10.9	高岡市博労町にある極楽寺(1350～。浄土宗)の歴史や由緒などを記したもの。通称「守山極楽寺」	購入
13	第一期・第二期種痘済証	昭和11年～15年(1936～40)	2	—	高岡市から天然痘の予防接種完了後交付される証明書。第一期は生後6ヶ月、第二期は数え年10歳で行なう	藤本一夫氏寄贈
14	高岡絵葉書「桜馬場花ノトンネル」	昭和8～19年(1933～44)	1	8.8×13.8	明治35年(1902)公園指定を受け桜馬場公園となる(～1955)。北陸有数の桜の名所となった風景を撮影した絵葉書	購入
	高岡絵葉書「高岡駅前通りより丸越を望む」	昭和12～18年(1937～43)	1	8.9×14.0	高岡駅前通りからデパート丸越(現・高岡大和。1937～)方面の風景を撮影した絵葉書	〃
15	十銭普通切手「敵国降伏」	昭和20年(1945)4月1日	10	2.6×2.1	最後の第二次昭和切手(1942～45年発行。昭和20年9月1日以降使用禁止となる)。通称「勅額切手」	藤本一夫氏寄贈
16	『産業交通案内図』(金沢・富山・高岡・小松・魚津)	昭和25年(1950)11月25日	1	18.4×13.2	発行・(株)東洋通信社。本市など5市町の公共機関や百貨店など業種別の施設所在地や交通順路を記した案内図	購入
17	高岡市街鳥瞰図リーフレット	昭和25年(1950)	1	17.6×12.6	発行・高岡市役所。京都出身の鳥瞰図作家・吉田初三郎が描いた鳥瞰図(原画・当館蔵)をもとに作られたリーフレット	〃
18	「観光のしるべ」(高岡産業博覧会)	昭和26年(1951)	1	36.8×52.2	発行・高岡市役所。高岡産業博覧会(会場：高岡古城公園。会期：4月5日～5月25日)の開催にあたり作られた市内近隣の観光パンフレット	匿名希望者寄贈
19	高岡産業博覧会記念小壺	〃	1	6.5×7.5×高6.5	高岡産業博覧会の開催記念に作られた小壺	〃
20	高岡産業博覧会記念盃	〃	2	径5.0×高3.0	高岡産業博覧会記念に作られた盃。九谷焼	篠原秀幸氏寄贈
21	高岡大仏座像(高岡産業博覧会記念)	〃	1	6.5×8.3×高9.4	高岡産業博覧会の開催記念に作られたもの。第二次大戦後のGHQ統治下(1947～52年頃)の日本からの輸出向け製品で台座裏に「MADE IN OCCUPIED JAPAN」の表示	購入
22	高岡市・富山県農協共済証書袋	昭和30年(1955)頃	2	—	発行・富山県共済農業共同組合連合会。こども共済証書袋・生命共済証書袋	匿名希望者寄贈
23	「一般用米穀類購入通帳」	昭和45年(1970)11月21日	1	12.8×18.1	発行・農林省。食糧制度(1942～81)の下、米穀類の配給を受けるために発行されたもの。各市町村が職務を代行した	佐藤秀一氏寄贈

24	標札「高岡市立中田図書館」	昭和43年～平成6年(1968～94)	2	—	中田図書館前(旧・中田町役場)に掲げられていた標札	高岡市立中田図書館寄贈
25	高岡イベントサイン色紙	昭和63年～平成元年(1988～89)	4	27.3×24.3	高岡市内でのイベント開催に伴い収集したサイン色紙。まつもと泉(漫画家)・立川志の輔(落語家)・大月みやこ(歌手)・石ノ森章太郎(漫画家)	匿名希望者寄贈
26	マッチ箱ラベル	昭和～平成期	85	—	高岡市内を含む富山県内外の飲食店の広告が印刷されたマッチ箱ラベル。うち43枚が高岡市内のもの	西岡多鶴子氏寄贈
27	「贈従二位前田利常卿畫像及遺愛品寫真」	—	5	—	前田利常畫像や遺愛品を撮影した印刷物5枚	購入
28	あかね盆	昭和48年(1973)以降	1	径33.4×高2.5	開発製作・富山県工業試験場(現・富山県工業技術センター)。高岡・勇助塗の手捏ね盆をヒントに作られ、表面にはあかね色(暗赤色)のカシュー塗料(人工漆)が塗られている。高岡漆器の大ヒット商品のうちのひとつ	〃
29	広瀬旭荘筆「五絶」	江戸後期	12	134.6×52.4	五言絶句の漢詩12幅で元は屏風だった。広瀬旭荘(1807～63)は豊後日田(現・大分県日田市)出身の漢詩人・儒学者。大坂や江戸などで塾を開き詩作を得意とした	山田達雄氏・早苗裕子氏寄贈
30	山口花笠筆「白雲に」(円窓)	明治中～昭和前期	1	径26.4	「白雲にはね／うちかはし／とふかりの／かけ／さへ／見ゆる／あきの／夜の月」。山口花笠(1878～1944)は砺波郡福田村和田(現・高岡市)出身の俳人・歌人。書にも秀でた	購入
31	筏井竹の門筆俳句短冊「砂畑の」	大正期	1	36.2×6.0	「砂畑の口が明るい麦が／青々と二筋」。麦は夏の季語。筏井竹の門(1871～1925)は金沢出身の俳人・俳画家で和歌もよくした。明治25年(1892)高岡に転居し、以後高岡の文芸の発展に貢献した	匿名希望者寄贈
32	筏井竹の門筆俳句短冊「山吹の」	明治後～大正期	1	36.2×6.1	「山吹の黄なる落葉／や／三十三才」。竹の門33歳は明治37年(1907)だが、印章「此君生」は大正8年(1919)から用いたとされる。山吹は冬の季語	購入
33	筏井竹の門筆俳句短冊「元旦」	〃	1	36.2×6.1	「元旦実の生らぬ南天の／ほのかなる雪」。南天は冬の季語	〃
34	筏井竹の門筆俳句短冊「天狗松の」	〃	1	36.4×6.1	「天狗松を真向うに／上の茸ぞし」。茸は秋の季語	〃
35	筏井竹の門筆「薊」	大正12年(1923)3月	1	142.6×34.2	「癸亥 三月 竹の門生」。細い管状で紅紫色の花が咲くキク科の植物・薊を描いたもの	〃
36	筏井竹の門筆「向日葵」	大正期	1	136.8×33.2	向日葵を描いたもの。落款は「四石山人」(高岡桐木町の自宅庭の四隅に石があったことから)、印章は「虎」(本名の虎次郎より)	〃
37	筏井竹の門筆「鶏頭」	大正期	1	138.0×33.5	「干網の裾紅す鶏頭かな」。花が咲くと柄の上部が大きく広がりが鶏のとさか状になるヒユ科の植物・鶏頭を描いたもの。鶏頭は秋の季語	〃
38	筏井竹の門筆俳句短冊「庵杉の」	大正期	1	36.0×6.0	「庵杉の空澄めり／鶉の高鳴に」。スズメ目モズ科の鳥類・鶉が持つ習性「モズの高鳴き」を俳句に表し、コスモスを描いたもの。鶉は秋の季語	匿名希望者寄贈
39	筏井竹の門筆「尾山神社にて(四方仏手水鉢)」	大正期	1	23.8×35.7	「尾山神社／にて／竹の門生」、「後藤程乗／手水鉢」。尾山神社(金沢市)の結婚式場・金溪閣の庭園にある四方仏手水鉢(千利休の遺品)を描いたもの。フクロウ型水盤ともよばれる	購入

## 2. 民俗資料

No	資料名称	年代	数量	法量 (縦×横,cm)	備考	収蔵方法
1	児童用トランプ(スタートランプ／林寛子)	昭和後期	56	7.8×4.8	女性タレント・林寛子(東京出身。1959～)の10～20代前半頃の写真が印刷されたトランプ。未使用	匿名希望者寄贈
2	引札「高岡薬剤株式会社 中村薬局」	明治後～大正中期	1	27.2×39.1	高岡薬剤株式会社[1900～。現・大同製薬(株)・中村薬局の売薬引札	購入
3	引札「高岡市橋番町 薬種売薬商 津島隨吉」	昭和2年(1927)11月	1	74.7×25.9	昭和3年(1928)の暦付きの売薬引札。たん・せきなどの風邪に効く「一服散」を取り扱っているとある	〃
4	計算機「OLIVETTI DIVISUMMA 26 GT」	昭和40～45年(1965～70)	1	50.0×28.0×高25.0	製作:イタリア・オリヴェッティ社。デザイン:エントーレ・ソットサス(1917～2007)。加減乗除の四則計算ができる	荒俣勝行氏寄贈
5	コロガシ(塩ビ管使用)	昭和期(戦前)	1	296.0×径45.7	枠に塩ビ(塩化ビニル)管が使われている六角の枠をもつ回転式の田植枠	沙魚川好男氏寄贈
6	ハサギボリ	—	1	95.0×31.0	刈り取った稲束を天日干しする「稲架掛け」の際に、稲架木の支柱を立てるための穴を掘る道具	吉久進氏寄贈

※会期中、資料保存のため一部展示替えをすることがありますので、ご了承ください。

合計 45件227点

## 高岡市立博物館

〔財〕高岡市民文化振興事業団

〒933-0044 富山県高岡市古城1-5(高岡古城公園内)

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570 URL <http://www.e-tmm.info/>